

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06348	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	浅部マグマ過程のその場観察実験 に基づく準リアルタイム火山学の 構築	研究代表者 (所属・職) (平成31年3月現在)	中村 美千彦 (東北大学・大学院理学研究科・ 教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、火山噴火の際の火道上昇を模した、実験室でのマグマの結晶化のその場観察、変形組織・構造と物性の関係解明を目指し、物理モデルと組み合わせることで、準リアルタイム噴火推移モデルの構築を目指すものである。</p> <p>高温変形実験には若干の遅れが認められるが、マグマのその場観察においては、X線CTによるナノスケール結晶観察の技術開発にも成功し、ナノサイズ結晶と噴火様式の関係をも明らかにするなど、着実に研究成果を上げており、今後の進展が期待できる。</p>		